

ロゲイニング in なごや「名古屋タイムスリップ街歩き大合戦」競技規則

2019 年 7 月 10 日制定

<はじめに> ロゲイニング in なごや「名古屋タイムスリップ街歩き大合戦」とは、名古屋市内を舞台に開催されるロゲイニング大会のことを指す。参加者は、配られた地図をもとに、指定された時間内にチェックポイントを回り、カメラ付きスマートフォン、またはデジタルカメラで写真撮影を行い、集めた得点を競う。本競技規則は、本イベントを公平かつ安全なスポーツとするために定める。

第一章 開催地への配慮

第二章 緊急時の対応

第三章 チーム人数とクラス

第四章 競技説明、及び作戦タイム

第五章 参加者の移動手段

第六章 チェックポイント

第七章 地図

第八章 アプリ

第九章 得点集計と表彰

第十章 罰則と抗議

第十一章 服装に関して

第十二章 免責事項

第一章 開催地への配慮

1. 名古屋タイムスリップ街歩き大合戦は、公共の場（公園・道路等）を使用して競技を行うため、参加者は開催地に感謝の気持ちを忘れずに、法律を遵守して、公共及び私有財産、一般の方の安全を尊重する義務を負う。
2. 以下を最優先すること
 - 1) 道路交通法を遵守する。
 - 2) 私有地、農地（畑・田んぼ等）、立ち入り禁止区域を通行してはいけない。
 - 3) ゴミのポイ捨てはしない。
 - 4) 自然破壊を行わない。
 - 5) 神社仏閣の境内では走らない。境内に入る際は一礼する。

第二章 緊急時の対応

1. 緊急を要する事態が発生した場合は、まずは安全確保に努め、周りの人に助けを求めること。
2. けが人がいる場合は、チーム員同士で協力して救助、応急手当に努めること。
3. 緊急車両の要請が必要な場合は、各自の判断で救助を要請すること。
4. その際は、必ず大会本部にも連絡を入れること。
5. 事故やトラブルが発生した場合、時間、場所、相手先を記録に残しておくこと。

第三章 チーム人数とクラス

1. ソロは 1 名、チームは 2～6 名で構成される。
2. 4 時間コースと 6 時間コースを設ける。
3. クラスは 7 クラスに分けられる、それぞれ上位 3 チームを表彰する。

4 時間コース

- ①ファミリー 1～3 位 (2～6 名、中学生以下を 1 名以上含む)
 - ②一般 1～3 位 (2～6 名、高校生以上)
 - ③ソロ 1～3 位 (1 名、高校生以上)
- ◆特別賞：コスプレ大賞(1 チーム)

6 時間コース

- ④男性 1～3 位 (2～6 名、男性のみ)
 - ⑤女性 1～3 位 (2～6 名、女性のみ)
 - ⑥混合 1～3 位 (2～6 名、男性 1 名・女性 1 名以上含む)
 - ⑦ソロ 1～3 位 (1 名、高校生以上)
- ◆特別賞：謎解き大賞(1 チーム)

※場合によっては、上記以外のコース、クラス分けを設ける場合もある。

第四章 競技説明、及び作戦タイム

1. 選手は競技説明会に必ず出席すること。
2. 競技説明会ではロゲイニングの競技ルール、ローカルルール等についてコースプランナーより説明を行う。疑問点等があればその場で確認することができる。
3. 直前の変更、その他重要な情報は、すべての関係者に提示されること。書面および口頭で告知することが望ましい。
4. 競技説明会終了後、一定の作戦タイムが与えられる。

第五章 参加者の移動手段

1. 参加者の移動手段は「徒歩」「ランニング」を基本とする。
2. 「特別ルール」として公共交通機関の利用を推奨する。
3. 競技中は、チームメンバーはお互いに 10m 以上離れずまとまって移動する。

第六章 チェックポイント

1. 参加者はチームに最低1台用意したカメラ付きスマートフォン、もしくはデジタルカメラで、チェックポイントの通過証明となる撮影を行う。その際に1台の機器によって撮影されたものが得点と認められる（複数台の合算は不可）。
2. チェックポイント一覧の見本写真と、著しく異なる場合は、得点とならない。
3. 撮影者以外のチームメンバーを撮影に含める。※チームの場合
4. カメラ付きスマートフォン、もしくはデジタルカメラが何らかの理由により使用不能になった場合、予備のものがあれば続行することができる。状況を考慮して主催者は得点を有効とするか判断する。
5. チェックポイントの識別番号は点数を表し、同じ番号は2つ以上使われていない。
6. チェックポイント同士の間隔は少なくとも50m以上離されている。
7. チェックポイントの位置、配点は大会当日の地図配付まで公開せず、スタート前にチェックポイントの撮影を行ってはならない。

第七章 地図

地図は以下の項目を満たす。

- 1) 縮尺は 1:25000 から 1:50000 の範囲内
- 2) 等高線間隔は 20m を超えないようにする。
- 3) 自然光、人工光の下で明快地読むことができる。
- 4) 磁北線、磁北（方角）、スタート（△）、フィニッシュ（◎）、チェックポイント（○）の場所と得点（数字）、給水所、トイレ、既知の立入禁止エリアが印刷されている。

第八章 アプリ

1. 得点集計をスムーズに行うため、ロゲイニング専用スマートフォンアプリ「愛ちた！ナビ」を推奨する。
2. 選手は事前にアプリをダウンロードしておき、受付時に配布されるログイン用 QR コードでチェックインを行う。
3. アプリ使用者と未使用者のどちらも競技に著しい不利益が生じないように配慮する。
4. 競技中はアプリのマップ機能は使用可とするが、ナビゲーション機能は使用不可とする。

第九章 得点集計と表彰

1. 選手が帰還後、以下の通り得点集計・確認を行う。
アプリ使用者
 - 1) アプリ上に表示されている点数と WEB 上の得点が一致しているか確認。
 - 2) 一致していれば、「OK」ボタンを押して得点を確定。
 - 3) 得点に相違がある場合、異議がある場合は、技術スタッフに申告を行い、認められれば修

正することができる。

アプリ未使用者

- 1) 順路記入用紙に回った CP を順に記入する。
 - 2) スタッフに順路記入用紙を提出し、写真チェックを受け、得点を確定する。
 - 3) 相違があれば、WEB 上で修正を行う。
2. 大会結果は、すべての参加者にできるだけ速やかに公表・配布すべきである。
 3. 大会結果には、チーム名、得点、回った順番が記載され、全体の順位と得点のクラス内順位を含む。失格チームも記載する。
 4. 表彰は競技終了後 1 時間以内を目安として行う。無断欠席の場合は、副賞の送付は行わない。

第十章 罰則と抗議

1. 選手は得点集計に異議がある場合は、抗議をすることができる。ただし、速報リザルト掲示後 30 分以内とする。
2. 選手が競技ルールを破った場合、技術スタッフが注意を行い、改善されない場合は失格とする。
3. 大会側の決定に不服がある場合は、異議申し立てを行うことができる。ただし、競技終了後 24 時間以内とする。

第十一章 服装に関して

大会規則、その他法令及び公序良俗に反するような行為や仮装はもとより、次の①から⑧は認めない。主催者側がこれらに該当すると判断した場合は、大会への参加を認めず、開始後に競技を中止させることがある。これに対する異議は一切認められない。

1. 他のランナーに対して危険と思われる服装や携行品を身に付けたり、顔全体を覆ったりするなど、他の競技者を傷つけたり、転倒させたりするおそれがある行為
2. 他のランナーや観戦者を不快にさせるなど、スポーツ大会にふさわしくない服装などの着用
3. 政治的、宗教上の主張を P R するものや広告宣伝等を目的とした服装などの着用
4. 大会主催者が認めていない個人の名前、特定の地域・団体などを P R するものや広告宣伝等を目的とした服装などの着用
5. 他のランナーがスタート合図と誤認し、大会運営に混乱を招くおそれのある物(強い光、閃光等を発生する照明器具、ホイッスルもしくは警笛または破裂音や爆発音を発生させる花火など) や他のランナーの妨げになるような大音量を発生する器具の使用
6. テロ対策を困難にする服装などの着用
7. AED 等、医療機器の使用を困難にする服装などの着用
8. その他、①～⑦以外で主催者が大会参加にふさわしくないと判断したもの

第十二章 免責事項

1. 大会開催中の事故・傷病への補償は大会側が加入した保険の範囲内とし、現場での応急処置以外の責任は負いません。

2. 悪天候、自然災害の発生により、主催者判断で大会を縮小・中止する場合があります。参加費の払い戻しはできませんのでご了承ください。但し参加記念品は後日郵送します。
3. 本大会において申し込みの際に得た個人情報は、大会を開催する目的以外には使用しません。また本大会で撮影した写真、映像等については、主催者に帰属し、新聞・雑誌等のメディア及び大会ホームページ等へ使用する場合があります。
4. 大会中における事故や盗難等について、主催者は一切の責任を負いません。